

消 防 費

9 消防費 1 消防費 1 常備消防費

① 組合消防費（防災安全課）

乙訓消防組合に係る運営費用を負担した。

令和7年度分担金 799,173,000円

乙訓消防組合理約に基づく各市町の負担金の算出方法

(1) 組合議会費 議員数割 (2) 経常経費 均等割30%・人口割70% (3) 投資的経費 人口割

9 消防費 1 消防費 2 非常備消防費

① 消防団活動費（防災安全課）

1 組 織

団本部 団長 1人 副団長 2人	第1分団（物集女町） 分団長 1人 副分団長 1人 班長 3人 団員 19人	（主な配置設備） 消防ポンプ自動車 1台
	第2分団（寺戸町） 分団長 1人 副分団長 1人 班長 3人 団員 20人	（主な配置設備） 消防ポンプ自動車 1台
	第3分団（森本町） 分団長 1人 副分団長 1人 班長 3人 団員 19人	（主な配置設備） 消防ポンプ自動車 1台 可搬式小型動力ポンプ 1台
	第4分団（鶏冠井町） 分団長 1人 副分団長 1人 班長 3人 団員 14人	（主な配置設備） 消防ポンプ自動車 1台
	第5分団（上植野町） 分団長 1人 副分団長 1人 班長 3人 団員 18人	（主な配置設備） 消防ポンプ自動車 1台
	第6分団（向日町） 分団長 1人 副分団長 1人 班長 3人 団員 17人	（主な配置設備） 消防ポンプ自動車 1台

2 定員と現在員

条 例 定 員	現 在 員
150人	140人

3 年額報酬と出勤報酬

年 額 報 酬

区 分	金 額	人 数
団 長	82,500 円	1 人
副 団 長	69,000 円	2 人
分 団 長	50,500 円	6 人
副 分 団 長	45,500 円	6 人
班 長	37,000 円	17 人
団 員	36,500 円	104 人

出 勤 報 酬

区 分	金 額	人 数
災 害	1日につき 8,000円	0 人
警戒又は 訓練	1日につき4時間以内の場合 4,000円	2,277 人
	1日につき4時間を超える場合 8,000円	6 人

合計金額	9,156,000 円
------	-------------

合計金額	5,212,369 円	※途中入団による日割り支給含む
------	-------------	-----------------

4 表 彰

表 彰	種 類	人 数
京 都 府 知 事 表 彰	永年勤続功労章	1人
	精 励 章	2人
日 本 消 防 協 会 長 表 彰	精 績 章	1人
	勤 続 章	5人
京 都 府 消 防 協 会 長 表 彰	功 績 章	1人
	精 績 章	1人
	精 勤 章	2人
向 日 市 長 表 彰	特 別 表 彰	6人
	普 通 表 彰	5人
	永 年 勤 続 表 彰	4人
京都府消防協会乙訓支部長表彰		6人
向日市消防団長表彰		5人

5 研 修

開催日・場所	課 程	人 数
5月17日 京都府立消防学校	消防団員幹部教育初級幹部科	2人
10月18日 京都府立消防学校	消防団員専科教育警防科	2人
11月15日 京都府立消防学校	消防団員幹部教育指揮幹部科分団指揮課程	2人

6 訓 練

開催日・場所	訓 練	人 数
4月20日 向日消防署	幹部指揮・初級団員訓練	36人
7月～10月 第6向陽小学校	錬成会訓練	838人
7月12日 第3向陽小学校	副団長視閲訓練	28人

7 装備の点検整備等

(1) 消防自動車の法定点検状況

(単位：台)

整備項目	台数
定期車検整備台数	3
定期点検整備台数	3

(2) 機械器具の点検整備

各分団に配備している機械器具について、随時点検整備を実施した。

各分団配備の機械器具

(単位：個)

機 械 器 具	個 数	
小型動力ポンプ	1	
救 助 器 具	バール	36
	スコップ	36
	鋸	36
	ハンマー	36
	ツルハシ	36
	掛矢	36
	チェーンソー	6
	コンクリート破壊器具	6

9 消防費 1 消防費 3 消防施設費

① 消防施設整備費（防災安全課）

1 消防水利の整備

水利標識の交換	67か所
---------	------

2 消防水利の状況（令和8年3月31日現在）

(1) 消火栓

(単位：基)

区分 \ 町別	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
計	78	215	62	80	125	19	579

(2) 防火水槽

(単位：基)

区分 \ 町別	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
40m ³ 以上	22	60	16	15	31	3	147
40m ³ 未満	2	4	1	3	0	0	10
計	24	64	17	18	31	3	157

(3) その他の水利

(単位：箇所)

区分 \ 町別	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
プール	2	4	1	0	1	1	9
池	4	4	0	0	0	0	8
その他（受水槽等）	1	1	0	0	2	1	5
計	7	9	1	0	3	2	22

9 消防費 1 消防費 4 災害対策費

② 災害対策事業費（防災安全課）

1 防災会議の開催

災害に対する予防、応急対策及び復旧について、防災関係機関と会議を行った。

内 容
・令和7年度防災関連事業報告について ・令和8年度防災関連事業計画(案)について ・令和8年度向日市地域防災計画の修正（案）について

2 防災パトロールの実施

出水期を前に、市内の災害危険箇所の点検を実施した。

開催日・場所	内 容	参 加 者
5月12日 土砂災害特別警戒区域 (物集女町長野、北ノ口)	土砂災害特別警戒区域のパトロール、実態把握	10人

3 向日市防災訓練の実施

開催日・場所	内 容	参 加 者
1月18日 向陽小学校 第2向陽小学校 第3向陽小学校 第4向陽小学校 第5向陽小学校 勝山中学校 市民体育館	・情報集約・情報伝達訓練 ・避難所受付訓練 ・避難所設営訓練	206人

4 乙訓2市1町合同 防災一斉行動訓練（シェイクアウト訓練）

自分の身は自分で守る「自助意識」の高揚を図るため、大規模地震を想定し、乙訓2市1町合同でシェイクアウト訓練を実施した。

開催日・場所	内 容	登 録 者
3月11日 市内各所	・地震が発生したと想定し、身の安全の確保 ・緊急速報メール及びエリアメールの配信 ・向日市防災・防犯メールの配信	4,909人

5 全国瞬時警報システム（Jアラート）全国一斉情報伝達訓練

消防庁からのJアラートによる情報を自動的に市民及び関係機関に伝達する訓練を実施した。

開 催	日	内 容
第1回	5月28日午前11時	・向日市防災・防犯メールの配信 ・関係機関に配備しているMCA無線の起動確認 ・回転灯の起動確認
第2回	8月20日午前11時	
第3回	11月12日午前11時	
第4回	2月6日午前11時	

6 啓発事業

事業名	開催日・場所	内容
防災とボランティア週間	1月15日～21日 永守重信市民会館	ボランティア活動写真の展示、防災パンフレットの配布による「ミニ防災展」により啓発に努めた。
出前講座	6月13日 洛南小学校 10月6日 第4向陽小学校 11月13日 西ノ岡中学校	延べ373人の児童生徒、教員、市民に出前講座を実施し防災知識の啓発に努めた。

7 災害対応

気象警報等の発表に伴い、災害警戒本部を設置し危険箇所のパトロールなどを行い、市民の安心・安全の確保に努めた。

日時	災害種別	警戒種別	動員数	避難所開設状況・避難人数
7月11日	大雨警報	災害警戒本部	17人	—
8月11日	大雨警報	災害警戒本部	2人	—
2月8日	大雪警報	災害警戒本部	5人	—

8 トイレカー導入事業(令和6年度繰越分)

38,701,095円

自然災害等の発生時に避難所の適切な運営・感染症対策を行うことを目的として、トイレ不足の早期解消のためにトイレカーの導入の準備を行った。

9 防災力強化事業(令和7年度主要事業)

(1) 防災・減災に必要な資機材等の整備

45,508,100円

避難所における生活環境の向上のための資機材等の整備を行った。

(2) 第3世代衛星通信系防災情報システムの整備

24,261,000円

災害時の緊急情報や避難情報、全国瞬時警報システム(Jアラート)からの情報等を正確に受信するため、防災情報システムの更新を行った。

(3) 備蓄物資の購入(令和8年度へ繰越)

4,191,046円

備蓄物資を計画的に整備するため準備を進めた。

(4) 防災情報伝達システムの整備(令和8年度へ繰越)

7,040,000円(前払分)

住民の防災意識の高揚と非常の情報収集、連絡の確保を目的に、防災情報伝達システムの整備を進めた。

10 自主防火防災用器具設置補助事業（防災安全課）

内 容	補 助 組 織 数		内 訳	
防火防災用器具を設置する町内会等の自主防災組織に対する補助金の交付	防災用器具設置町内会数	0組織	車椅子	0台
	消火器設置補助町内会数	30組織	粉末消火器	171本
			格納箱	30個

11 防災士育成事業（防災安全課）

内 容	人 数
防災士	0人